学校番号	３１６

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の地理Ａ」　（帝国書院）						
副教材等	新詳高等地図　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書、地図帳などをもとに、プリントを使った調べ学習を行う。
・身近な話題から地理に関する興味を引き出し、基礎的な知識を身につけさせる。
・各項目の中にできるだけ日本を含めて扱うとともに、日本と世界の諸地域を比較して関連付けて考察させる。
・ニュースなどを活用し、災害・防災に関する理解を深める。

2　学習の到達目標

・　世界各地の地形や気候、文化、産業の違いから生まれた地域性に関して理解を深めるとともに、諸地域が抱える課題について歴史的背景も踏まえながら考察する。
・　日本の地形や気候について理解を深め、身近な地域における自然災害への取り組みなどの課題について考察する。
・　地理的な見方、考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・世界や日本の諸地域における地理的特性が持つ諸問題に対し、問題意識を持って意欲的に追求できているか。	・世界や日本の諸地域における諸問題を、歴史的背景を踏まえながら見出し、多面的・多角的に考察できているか。	・史料や情報を効果的に活用することを通じて地理的事象について追求する学び方を身につけているか。	・世界や日本の諸地域における地理的特性について、基本的な知識を身につけているか。
評価方法	・観察 ・提出物	・提出物 ・定期考査	・提出物 ・定期考査	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代世界の特色	・旅からとらえる現代世界 ・世界の自然環境と文化	○ ○	 ○	○ ○	 ○	a:世界の地形や気候、文化について関心を高め、意欲的に研究しようとしている。 b:地形や気候などの違いから生じる生活の差異について考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:図法の特徴を理解し、地図から気候や地形などの情報を読み取っている。 d:気候区分や三大宗教、地形に関する基本的な知識を身に付けている。	提出物 定期考査 観察
2学期	世界の諸地域の課題	・世界の諸地域の生活・文化 ・地球規模で広がる課題	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:世界の諸地域における生活や文化に関心を持ち、それらが持つ課題について意欲的に研究しようとしている。 b:諸地域の自然、歴史的背景を踏まえ、どのようにして現在発展している産業に繋がったかを考察し、課題が何であるか、自らの考えを表現している。 c:諸地域に関する地図や各種統計資料を活用し、諸地域の地理的特性を適切に読み取っている。 d:諸地域の歴史、自然、産業に関する基本的な知識を身に付けている。	提出物 定期考査 観察
3学期	身近な地域の課題	・身近にあるさまざまな地図 ・日本の自然環境と防災 ・身近な地域の課題と地域調査	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○	a:我が国の地理的特性に関心を持ち、自然環境や防災について意欲的に研究しようとしている。 b:我が国の自然環境や身近な地域の特性を踏まえ、それらが持つ課題について考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:一般図やＧＩＳを用いた地図を適切に活用し、我が国の地理的特性を読み取っている。 d:我が国の領土に関する事項や自然環境、防災に関する取り組みについて、基本的な知識を身に付けている。	提出物 定期考査 観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。